

青木 野枝 *Noe Aoki*

1958 東京都生まれ(東京都在住)

1981 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業

1983 武蔵野美術大学大学院造形研究科(彫刻コース)修了

彫刻家。主に鉄を素材としたインスタレーションを行なう。細く溶断した鉄を溶接して作った軽やかな形態で場を埋めつくしたり、自然環境と一体となった作品を発表し続けている。その重い素材の重力を感じさせない空間を内包した表現は、従来の鉄の彫刻の概念を覆したといえる。1997年より彫刻と並行して、版画作品を発表。最近ではフォトコラージュ作品も制作し、空間表現における更なる広がりを目指している。美術館、企業のコレクション多数。ワークショップも各地で精力的に行っている。

【主な個展】

1995 近作展-19 青木野枝 (国立国際美術館/大阪)

2000 青木野枝展-軽やかな、鉄の森 (目黒区美術館/東京)

2003 熊と鮭に (国際芸術センター青森)

2004 空の水 (入善町下山芸術の森 発電所美術館/富山)

2007 Embracing Lights: iron(光を内包する:鉄) (ヘイリー芸術村/坡州市、韓国)

2008 青木野枝 個展 (上海美術館/中国)

空の水/北京 (クムサンギャラリー北京/中国)

アーティストキャンプ<青木野枝> (宮崎県立美術館)

【主なグループ展】

1986 第6回ハラアニュアル (原美術館/東京)

1990 1st北九州ビエンナーレ (北九州市立美術館)

1992 語り出す鉄たち-今日の金属彫刻から (東京都美術館)

1996 第6回富山国際現代美術展 (富山県立近代美術館)

1999 開館10周年記念「世界を編む」 (横浜美術館/神奈川)

2000 越後妻有アートトリエンナーレ (新潟) <2006、2009年も出品>

2002 現代の表現 彼女たちが創る理由 (長野県信濃美術館)

美術のカー時代を拓く7作家 (兵庫県立美術館)

アートドキュメント2002森の精三人展 (金津創作の森/福井)

2006 縄文と現代 (青森県立美術館)

2007 プライマリーフィールド (神奈川県立近代美術館 葉山)

【受賞歴】

1997 第9回倫雅美術奨励賞(創作部門)

2000 平成11年度(第50回)芸術選奨文部大臣新人賞

2003 第33回中原悌二郎賞優秀賞

第20回記念現代日本彫刻展下関市立美術館賞(植木茂記念賞)

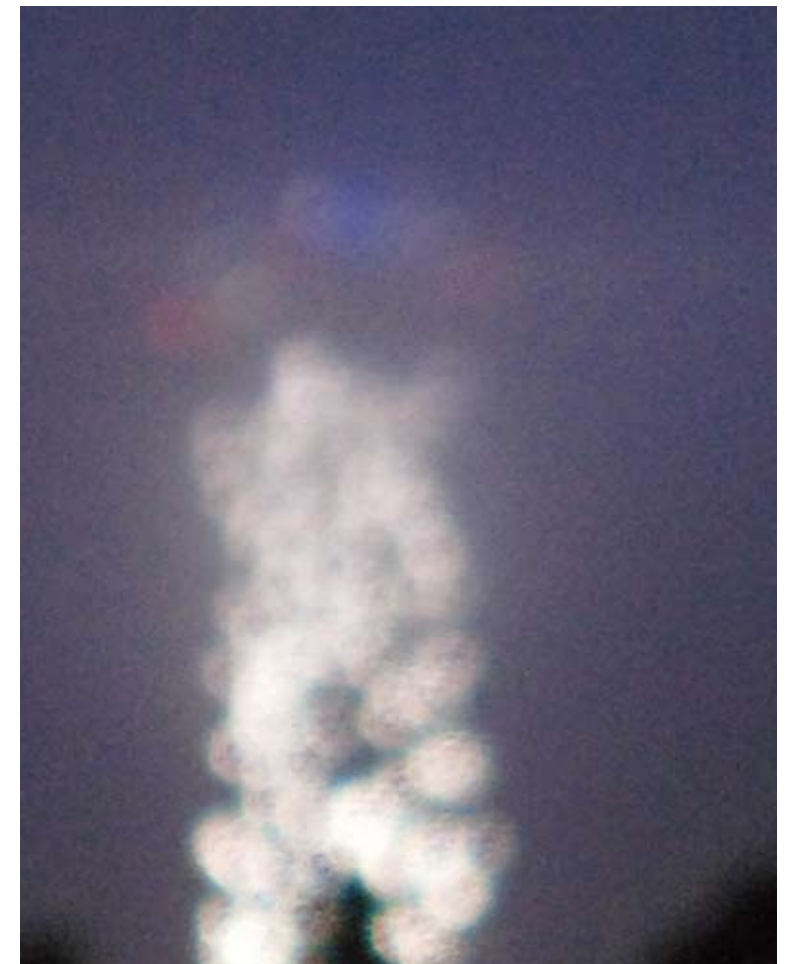
2009 第19回公益信託タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞

【主な収蔵先】

宇都宮美術館(栃木)、大分市美術館、霧島アートの森(鹿児島)、国際芸術センター青森、国立国際美術館(大阪)、千葉市美術館、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(北海道)、名古屋市美術館(愛知)、新潟県立近代美術館、広島市現代美術館、目黒区美術館(東京)



《空の粒子/西田尻》 2009年 新潟



《空の粒子 Paris08-02》 2009年



《空の粒子》 2009年 東京



《空の水/北京》 2008年 中国



《空の水/葉山》 2007年 神奈川



《水天-2》 2007年
立体作品のphoto: 山本紉